

線形代数学・同演習 B

11 月 8 日分 演習問題^{*1}

- 1.[†] (1) 各 j に対して, $v_j \in \text{Im } T$ であるので, その定義より U のある要素 u_{r+j} で $T(u_{r+j}) = v_j$ となるものが存在する. ここで, v_1, \dots, v_s は基底であるので, どれも 0_V にはならない. つまり, $T(u_{r+j}) \neq 0_V$ であるので, $u_{r+j} \notin \text{Ker } T$ である. (2) u を U の任意の要素とする. まず, $T(u)$ を考えると, これは $\text{Im } T$ に属している所以, v_1, \dots, v_s の線形結合で表すことができる. つまり $u = b_1 v_1 + \dots + b_s v_s$ と表すことができる. さて, ここで $\tilde{u} := u - b_1 u_{r+1} - \dots - b_s u_{r+s}$ という U の要素を考える. これを T でうつすと,

$$T(\tilde{u}) = T(u) - (b_1 T(u_{r+1}) + \dots + b_s T(u_{r+s})) = 0_V$$

であるので, $\tilde{u} \in \text{Ker } T$ となる. つまり, $\tilde{u} = a_1 u_1 + \dots + a_r u_r$ と書くことができる. 以上より,

$$u = a_1 u_1 + \dots + a_r u_r + b_1 v_1 + \dots + b_s v_s$$

となるので, U の任意の要素はこれらの線形結合で書ける. (3) $u' = a_1 u_1 + \dots + a_r u_r + b_1 u_{r+1} + \dots + b_s u_{r+s}$ とし, 方程式 $u' = 0_U$ を考える. u_1, \dots, u_r は $\text{Ker } T$ の基底であること, および線形写像は零元を零元にうつすことより,

$$0_V = T(u') = b_1 T(u_{r+1}) + \dots + b_s T(u_{r+s}) = b_1 v_1 + \dots + b_s v_s$$

であるが, v_1, \dots, v_s は $\text{Im } T$ の基底なので, これを満たす (b_1, \dots, b_s) は $(0, \dots, 0)$ しかありえない. よって $u' = a_1 u_1 + \dots + a_r u_r$ であり特に $u' \in \text{Ker } T$ であるが, 今度は u_1, \dots, u_r が $\text{Ker } T$ の基底であるため, $a_1 = \dots = a_r = 0$ を得る. よって, u_1, \dots, u_{r+s} は線形独立となる.

- 2.[†] いずれの場合も $T(0_U) = 0_V$ より, 零元を持つことが分かる. また, $\lambda, \mu \in \mathbb{K}$ としておく. (1) $v_1, v_2 \in \text{Im } T$ とする. このとき, U のある要素 u_1, u_2 を用いて $v_1 = T(u_1)$, $v_2 = T(u_2)$ とかけるが, $T(\lambda u_1 + \mu u_2) = \lambda v_1 + \mu v_2$ であるので, $\lambda v_1 + \mu v_2 \in \text{Im } T$ となる. よって部分空間となる. (2) $u, u' \in \text{Ker } T$ とすると, $T(\lambda u + \mu u') = \lambda T(u) + \mu T(u') = 0_V$ であるので, $\lambda u + \mu u' \in \text{Ker } T$, つまり部分空間となる.

3. 与えられた行列を簡約化すれば, それぞれ次のようになる. (1) $\begin{pmatrix} 1 & 0 & 3 \\ 0 & 1 & 3 \end{pmatrix}$ (2) $\begin{pmatrix} 1 & 2 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}$ (3) $\begin{pmatrix} 1 & -1 & 0 & -2 \\ 0 & 0 & 1 & -2 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$ (4) $\begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}$ (5) $\begin{pmatrix} 1 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 2 & 2 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$ (6) $\begin{pmatrix} 1 & 0 & 3 & 0 & -1 \\ 0 & 1 & 0 & 0 & -3 \\ 0 & 0 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$ 余白の都合で次ページへ.

4. (1) \bigcirc (2) \times (3) \bigcirc (4) \bigcirc (5) \bigcirc (6) \times

- 5.[†] (1) $h(x) = \lambda p(x) + \mu q(x)$ (p, q は多項式) において, $T(h(x)) = \lambda T(p(x)) + \mu T(q(x))$ を満たすことを確認すればよい. (2) 退化次元は 1, 階数は 3 (3) $1, x, x^2(-3, 3-2x, -3+6x-x^2$ でもよい)

^{*1} 凡例: 無印は基本問題, [†] は特に解いてほしい問題, * は応用問題.

		(a)		(b)
(1)	1	$\begin{pmatrix} -3 \\ -3 \\ 1 \end{pmatrix}$	2	$\begin{pmatrix} 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} -4 \\ 1 \end{pmatrix}$
(2)	1	$\begin{pmatrix} -2 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}$	2	$\begin{pmatrix} -1 \\ 2 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \end{pmatrix}$
(3)	2	$\begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 2 \\ 0 \\ 2 \\ 1 \end{pmatrix}$	2	$\begin{pmatrix} 1 \\ -2 \\ -5 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ -5 \end{pmatrix}$
(4)	1	$\begin{pmatrix} 0 \\ -1 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}$	3	$\begin{pmatrix} -1 \\ 5 \\ 4 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 2 \\ 1 \\ -4 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} -4 \\ 3 \\ -1 \end{pmatrix}$
(5)	2	$\begin{pmatrix} -1 \\ -2 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ -2 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}$	2	$\begin{pmatrix} 1 \\ -5 \\ -2 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} -3 \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix}$
(6)	2	$\begin{pmatrix} -3 \\ 0 \\ 1 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 \\ 3 \\ 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}$	3	$\begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ -1 \\ -3 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} -1 \\ -1 \\ 2 \\ 2 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} -3 \\ -5 \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix}$